

## 建築たより 2016 年度総目次

2017. 03. 30 建築便りのブログ、総目次 2016 年度。178
2017. 03. 13 地震時建物は回転やねじれ運動している、177
2017. 03. 12 ボカ杉の利活用に最新設計法で後押し、176
2017. 02. 21 専門家の視点には人が不在なのは、175
2017. 02. 09 住宅やインテリアでは見てくれもいいが技術にも目を向けて、174
2017. 02. 07 設計事務所でも図面を丹念に描かないことまあり、173
2017. 02. 06 設計者は大工が分かるような施工図をほとんどの場合描かない、172
2017. 02. 05 五重塔の建築的意味、171
2017. 01. 31 氷見のボカ杉は見た目で損をしている、170
2017. 01. 30 氷見ボカ杉について理論からの考究が功速、169
2017. 01. 28 建築系合同新年交流会に出てみて、168
2017. 01. 12 学協会がらみの災害調査の今昔、167
2017. 01. 11 火災についての建築専門家の受け止め方、166
2017. 01. 09 16 年 12 月 22 日の糸魚川大規模火災、165
2016. 12. 12 地域をリードする業界人、164
2016. 12. 08 木材利用に関する技術常識の更新、富山県氷見のボカ杉(ひみり山杉)利用の昨今を例に、163
2016. 12. 07 安普請の建物を作ったあとは知らないって、162
2016. 11. 14 大学ではお粗末な教員もたまにいる、161
2016. 11. 13 対震についての設計への規制と緩和、160
2016. 11. 12 施工不良による被害、159
2016. 11. 01 新築住宅設計でユーザーズ`に`応え切れていない被害、158
2016. 10. 30 宅地地盤崩壊による被害、157
2016. 10. 28 建築で構造を目指している人でも、地盤・土質を勉強しない、156
2016. 08. 11 江戸時代の家屋のお値段はいくら、155
2016. 08. 10 人がいては困る建築なのですか、154
2016. 07. 12 木造関係のシンポで会場警備を心配する方がいた、153
2016. 08. 11 江戸時代の家屋のお値段はいくら、152
2016. 08. 10 人がいては困る建築なのですか、154
2016. 07. 12 木造関係のシンポで会場警備を心配する方がいた、153
2016. 06. 09 建築への転身派は結構がんばっている、152
2016. 06. 06 杭打ちのデータ改ざんや手抜き施工について、151
2016. 06. 04 建築設計者はもっと地盤のことをもっと勉強してほしい、150
2016. 05. 28 コンクリート劣化を微生物利用で再石灰化、149
2016. 05. 24 地震による瓦被害を免震機能というのは間違い、148
2016. 05. 22 熊本地震、設計者や施工者にはあきらめ観が、147
2016. 05. 18 簡単に修理可能な木造家屋とはどんなものか、146
2016. 05. 17 施工者には木造設計の最新状況が説明されていない、145
2016. 05. 5 熊本地震被害を見て、144
2016. 05. 14 住宅建設における設計施工分離について、143
2016. 04. 03 設計士師といえども難しい問題には関係の専門家の助力を、142
2016. 04. 02 ヘリテージマネージメントには設計者と施工者のレベルの高いコミュニケーションを、141
2016. 03. 31 建築便りのブログ、2015 年度の総目次、140
2016. 03. 22 設備機器を間違えて逆方向に設置はまああるが、139
2016. 03. 14 下請け仕事が総額で安く買い叩かれ、138
2016. 02. 18 大工は技術を磨いて大工の価値あり、137
2016. 01. 30 大工の技量向上は競争社会には望めないのでは、136
2016. 01. 08 講演会を面白くするのも会場を盛り上げるのも司会者の役割、135
2016. 01. 04 ハウスマーによる建物も街道筋に入り込む、134